

2 参考資料

①児童生徒質問紙の項目変更について

(1)昨年度との変更点

- 「アクティブ・ラーニングの実施」に関する項目を変更し、名称を「主体的・対話的で深い学びの実施」とした。
- これまで以上に先生方の授業改善に生かせるような質問項目とするため、新たな10項目に変更した。

【今年度から項目変更した主体的・対話的で深い学びの実施に関する項目】

主に主体的な学びに関する項目	<ul style="list-style-type: none"> ○授業の始めに、今日はどんな学習をするのかをつかんでから学習に取り組んだこと ○授業の終わりに、授業で学んだことをふり返り、自分がわかったことやわからなかったことを理解したこと ○わからないことなどを質問しやすい雰囲気で行われたこと ○教材やワークシートがあることで、学習しやすくなったこと
主に対話的な学びに関する項目	<ul style="list-style-type: none"> ○グループやペアで、話し合ったり、意見や考えを出し合ったりして課題を解決したこと ○課題の解決に向けて、話し合ったり交流したりしたことで、自分の考えをしっかりと持てるようになったこと ○話合いや集めた資料から、自分の考え方が変わったり、深まったりしたこと
主に深い学びに関する項目	<ul style="list-style-type: none"> ○授業を通して学んだ内容について、さらにくわしく知りたい、学びたいと思ったこと ○授業で学んだことが、以前に学習した知識とつながったこと ○授業で学んだことを、日常生活に生かせると感じたこと

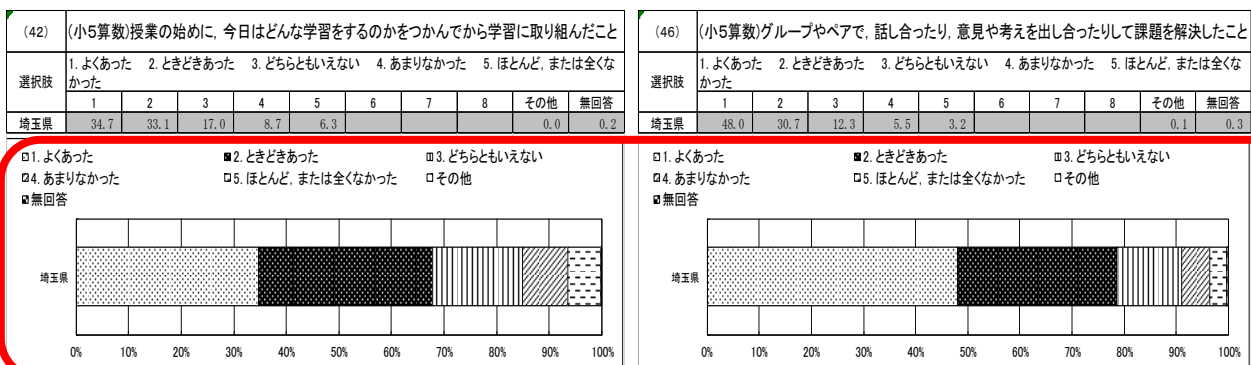
(2)帳票で確認する場合

帳票40 (項目が示されている)

R3結果									
主体的・対話的で深い学びの実施	学習方略					非認知能力			
	柔軟な方略	プランニング方略	作業方略	人的リソース方略	認知的方略	努力調整方略	自制心	自己効力感	学習意欲(算数)

授業を受けていた児童生徒の意識を確認しながら、授業改善に役立ててください。

帳票10 (それぞれの質問項目ごとにグラフ化されている)



②人的リソース方略について

- 人的リソース方略とは、児童生徒が友人を利用して学習を進める活動のことである。
- 人的リソース方略のよい(数値が高い)という状態は、すぐに人に頼るのではなく、自分で考えて困ったときに友達に答えではなく考え方を教えてもらうなど適切に援助を求めている状態である。
- 人的リソース方略の数値が低い傾向がある場合、自分の力でできる限り考えることや困ったときに自分の周りにいる人やある物を活用することを促していくことが大切である。

例えば…

○よりよい行動について価値付けを行う

- すぐに人に頼るのではなく、
- ・自分の力でできる限り考える
- ・調べてから助けを求める
- ・単に答えを聞くのではなく、考え方を教えてもらう

などの行為をほめる



○解決の見通しをもたせる

見通しをもたせることで、自分の力でできる限り取り組むことを促す



○考え方を教える場面を設ける

単に答えを教えてしまわないように留意する



③学習方略や非認知能力の質問項目

項目	説明
学習方略	子供が学習効果を高めるために意図的に行う活動（学習方法や態度）であり、次の①～⑥に分類される。
① 柔軟的方略 … 自分の状況に合わせて学習方法を柔軟に変更していく活動 (例) 勉強の順番を変えたり、分からないところを重点的に学習したりする など	
② プランニング方略 … 計画的に学習に取り組む活動 (例) 勉強を始める前に計画を立てる など	
③ 作業方略 … ノートに書く、声に出すといった、「作業」を中心に学習を進める活動 (例) 大切なところを繰り返し書く など	
④ 人的リソース方略 … 友人を利用して学習を進める活動 (例) 友達に勉強のやり方や分からないところを聞く など	
※ 人的リソース方略のよい（数値が高い）という状態は、すぐに人に頼るのではなく、自分で考えて困ったときに友達に答えではなく考え方を教えてもらうなど適切に援助を求めている状態です。	
⑤ 認知的方略 … より自分の理解度を深めるような学習活動 (例) 勉強した内容を自分の言葉で理解する など	
⑥ 努力調整方略 … 「苦手」などの感情をコントロールして学習への意欲を高める活動 (例) 分からないところも諦めずに継続して学習する など	
【児童生徒質問紙の項目】	
柔軟的方略	勉強のやり方が、自分にあっているかどうかを考えながら勉強する 勉強でわからないところがあったら、勉強のやり方をいろいろ変えてみる 勉強しているときに、やった内容をおぼえているかどうかをたしかめる 勉強する前に、これから何を勉強しなければならないかについて考える
プランニング方略	勉強するときは、さいしょに計画をたててからはじめる 勉強をしているときに、やっていることが正しくできているかどうかをたしかめる 勉強するときは、自分できめた計画にそっておこなう 勉強しているとき、たまに止まって、一度やったところを見なおす
作業方略	勉強するときは、参考書や事典などがすぐ使えるように準備しておく 勉強する前に、勉強に必要な本などを用意してから勉強するようにしている 勉強していて大切だと思ったところは、言われなくてもノートにまとめる 勉強で大切なところは、くり返して書いたりしておぼえる
人的リソース方略	勉強でわからないところがあったら、友達にその答えをきく 勉強でわからないところがあったら、友達に勉強のやり方をきく 勉強のできる友達と、同じやり方で勉強する 勉強するときは、最後に友達と答えあわせをするようにする
認知的方略	勉強するときは、内容を頭に思い浮かべながら考える 勉強をするときは、内容を自分の知っている言葉で理解するようにする 勉強していてわからないところがあったら、先生にきく
努力調整方略	新しいことを勉強するとき、今までに勉強したことと関係があるかどうかを考えながら勉強する 学校の勉強をしているとき、とてもめんどうでつまらないと思うことがよくあるので、やろうとしていたことを終える前にやめてしまう いまやっていることが気に入らなかったとして、学校の勉強でよい成績をとるためにいっしょうけんめいがんばる 授業の内容がむずかしいときは、やらずにあきらめるか簡単なところだけ勉強する 問題が退屈でつまらないときでも、それが終わるまでなんとかやりつづけられるように努力する

出典：心理測定尺度集Ⅳ：子どもの発達を支える〈対人関係・適応〉,(2007).,心理測定尺度集/堀洋道監修.サイエンス社

項目	説明
非認知能力	テストで計測される学力やIQなどとは違い、自分の感情をコントロールして行動する力があるなど性格的な特徴のようなものであり、本調査では次の4種類について質問を行っている。
<p>① 自制心 … 自分の意思で感情や欲望をコントロールすることができる力 (例) イライラしていても人に八つ当たりしない など</p> <p>【児童生徒質問紙の項目】 令和3年度の小学6年生、中学3年生に質問 自制心</p>	<p>授業で必要なものを忘れた 他の子たちが話をしているときに、その子たちのじゃまをした 何か乱暴なことを言った 机・ロッカー・部屋が散らかっていたので、必要なものを見つけることができなかった 家や学校で頭にきて人やものにあたった 先生が、自分に対して言っていたことを思い出すことができなかった きちんと話を聞かないといけないうきにぼんやりしていた イライラしているときに、先生や家の人(兄弟姉妹を除きます)に口答えをした</p> <p>出典： Tsukayama, E., Duckworth, A. L., & Kim, B.(2013). Domain-specific impulsivity in school-age children. <i>Developmental Science</i>, 16, 879-893.</p>
<p>② 自己効力感 … 自分はそれが実行できるという期待や自信 (例) 難しい問題でも自分ならできると考えられる など</p> <p>【児童生徒質問紙の項目】 令和3年度の小学4年生、中学1年生に質問 自己効力感</p>	<p>授業ではよい評価をもらえるだろうと信じている 教科書の中で一番難しい問題も理解できると思う 授業で教えてもらった基本的なことは理解できたと思う 先生が出した一番難しい問題も理解できると思う 学校の宿題や試験でよい成績をとることができると思う 学校でよい成績をとることができるだろうと思う 授業で教えてもらったことは使いこなせると思う 授業の難しさ、先生のこと、自分の実力のことなどを考えれば、自分はこの授業でよくやっているほうだと思う</p> <p>出典： P. Pintrich, et al.(1991) A Manual for the Use of the Motivated Strategies for Learning Questionnaire(MSLQ)</p>
<p>③ 勤勉性 … やるべきことをきちんとやることができる力 (例) 宿題が出されたらきちんと終わらせる など</p> <p>【児童生徒質問紙の項目】 令和3年度の小学5年生に質問 勤勉性</p>	<p>うっかりまちがえたりミスしたりしないように、やるべきことをやります ものごとは楽しみながらがんばってやります 自分がやるべきことにはきちんと関わります 授業中は自分がやっていることに集中します 宿題が終わったとき、ちゃんとできたかどうか何度も確認をします ルールや順番は守ります だれかと約束をしたら、それを守ります 自分の部屋や机の周りはちらかっています 何かを始めたら、絶対終わらせなければいけません 学校で使うものはきちんと整理しておくほうです 宿題を終わらせてから、遊びます 気が散ってしまうことはあまりありません やらないといけないうことはきちんとやります</p> <p>出典： Barbaranelli, C., Caprara, G. V., Rabasca, A., & Pastorelli, C.(2003). A questionnaire for measuring the Big Five in late childhood. <i>Personality and Individual Differences</i>. 34(4). 645-664.</p>
<p>④ やりぬく力 … 自分の目標に向かって粘り強く情熱をもって成し遂げられる力 (例) 失敗を乗り越えられる など</p> <p>【児童生徒質問紙の項目】 令和3年度の中学2年生に質問 やりぬく力</p>	<p>大きな課題をやりとげるために、しっばいをのりこえてきました 新しい考えや計画を思いつくと、前のことから気がそれてしまうことがあります きょう味をもっていることやかん心のあることは、毎年かわります しっばいしても、やる気がなくなってしまうことはありません 少しの間、ある考えや計画のことで頭がいっぱいになっても、しばらくするとあきてしまいます 何事にもよくがんばるほうです いったん目ひょうを決めてから、その後べつ目ひょうにかえることがよくあります 終わるまでに何か月もかかるようなことに集中しつづけることができません 始めたことは何でもさい後まで終わらせませす 何年もかかるような目ひょうをやりとげてきました 数か月ごとに、新しいことにきょう味を持ちませす まじめにコツコツとやるタイプです</p> <p>出典： Duckworth, A. L., Peterson, C., Matthews, M. D., & Kelly, D. R.(2007). Grit: Perseverance and passion for long-term goals. <i>Journal of Personality and Social Psychology</i>, 92(6), 1087-1101.</p>